早期景気観測調査

【12-1 月期 調査結果概要報告書】

◆調査要領

1. 調査の目的: 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査

として中小企業の明日の経営活動に資する。

2. 調査実施機関: 甲府商工会議所

3. 調査実施時期: 令和3年1月15日(金)~1月29日(金)

4. 調 査 対 象: 当所会員132事業所

5. 調 査 方 法: ファクシミリによるアンケート方式

6. 有効回答数: 93件

7. 有効回答率: 70. 5%

8. 特 記 事 項: 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1 月期の動き】

全体業況は▲63.4と4期振りの悪化となった。

向こう3ヶ月の業況は改善の見通しだが、値 は▲60.2とほぼ横ばい。

12-1 月期の全業種総合の業況D I は、▲63.4 (前期比 6.9ポイント減) と 4 期振りの悪化となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は改善する見通しだが、値は▲60.2とほぼ横ばい。

業種別では、製造業、卸売業、サービス業が改善、建設業、小売業が悪化となった。

製造業の業況DIは▲38.1 (前期比9.3ポイント増)と2期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI ○横ばい⇒金融貸出しDI向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

建設業の業況D I は▲50.0(前期比 14.7ポイント減)と悪化となった。

○改善→金融貸出しDI ○悪化→売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI 向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

卸売業の業況DIは▲76.2(前期比3.8ポイント増)と4期連続の改善となった。 ○改善⇒仕入単価DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI

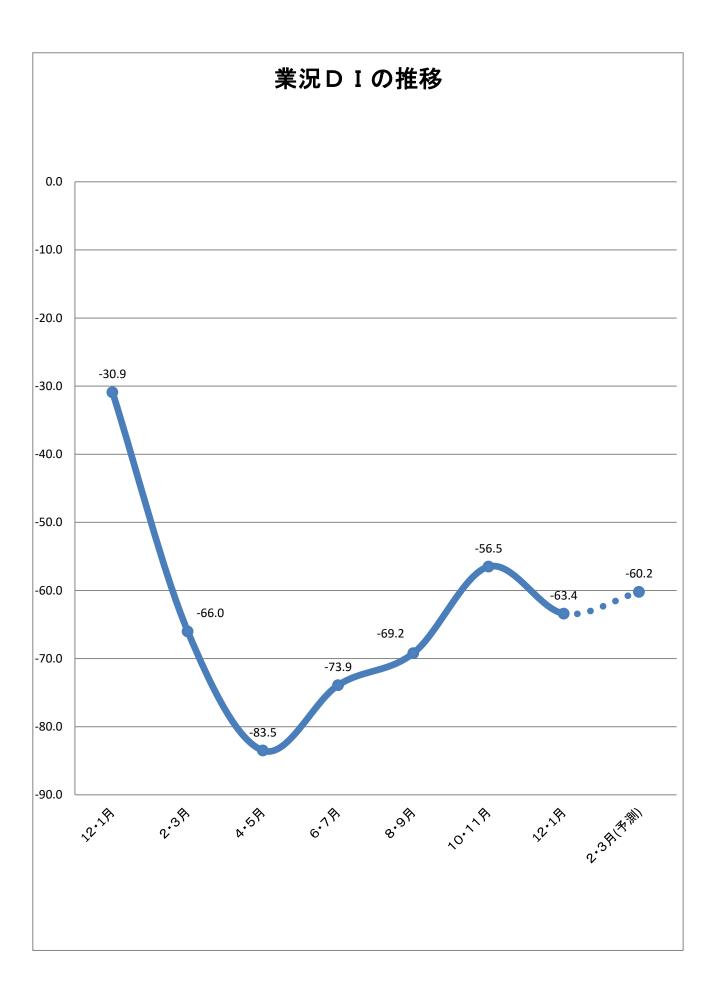
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

小売業の業況D | は▲65.0(前期比33.2ポイント減)と悪化となった。

○改善⇒仕入単価DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、採算DI、従業員DI 向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

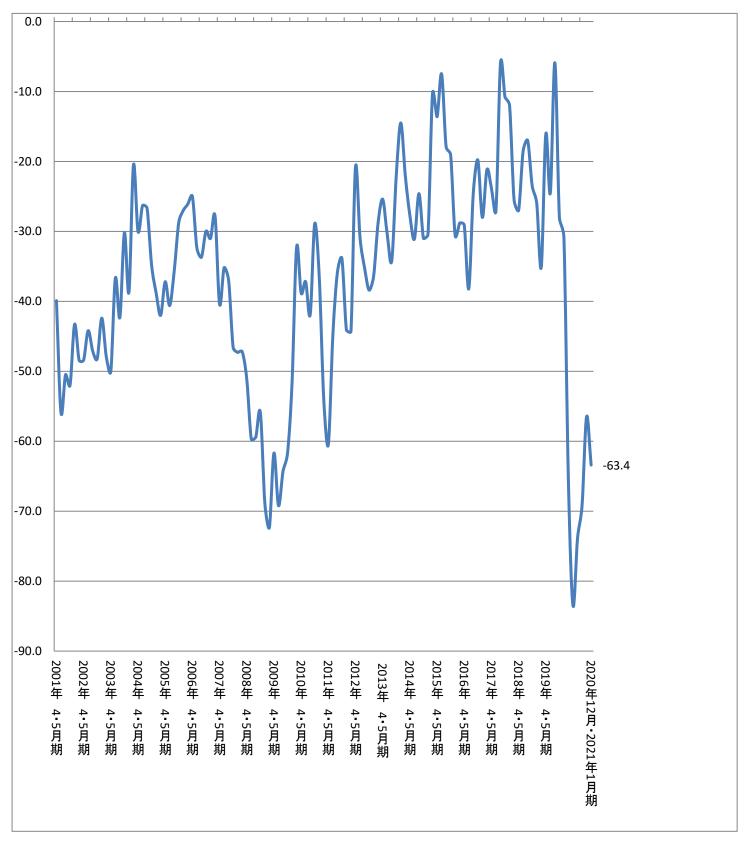
サービス業の業況DIは▲93.3(前期比6.7ポイント増)と改善となった。

○改善→金融貸出しDI ○悪化→売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI 向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。



業況DIの推移

(2001年4.5月期 ~ 2020年12月.2021年1月期)



◆全業種·業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回DIに比べて(先行は今回実績値に比べて)							
改善	悪化						
DI値	DI値	DI値					

※仕入単価DIは、<u>仕入単価が下落した場合、「┛」</u>(改善) と表示しております。 従業員DIは、従業員が不足している場合、「┛」(改善) と表示しております。

◆ 全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 63. 4	▲ 60. 2	▲ 61. 3	▲ 58. 1	▲ 12.9	▲ 2. 2	5. 4

12-1月期の全業種総合の業況DIは、▲63.4(前期比6.9ポイント減)と4期振りの悪化となった。

項目別

- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(▲1.1→5.4)
- ○2期連続改善⇒仕入れ単価D | (▲19.6→▲12.9)
- ○今期より悪化⇒売上DI(▲57.6→▲61.3)、採算DI(▲51.1→▲58.1)、 従業員DI(12.0→▲2.2)

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲60.2と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 38. 1	▲ 38. 1	▲ 42. 9	▲ 28. 6	▲ 9. 5	9. 5	0. 0

業況DIは▲38.1(前期比9.3ポイント増)と2期連続の改善となった。

項目別

- ○今期より改善⇒仕入単価D I (▲31.6→▲9.5)
- O2期連続改善⇒売上DI(▲57.9→▲42.9)、採算DI(▲42.1→▲28.6)、 従業員DI(0.0→9.5)
- ○2期連続横ばい⇒金融貸出しD I (0.0→0.0)向こう3ヶ月の業況は、▲38.1と横ばいの見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 43.8	▲ 43. 8	18.8	6. 3

業況DIは▲50.0(前期比14.7ポイント減)と悪化となった。

項目別

- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(0.0→6.3)
- ○今期より悪化⇒売上DI(▲41.2→▲50.0)、採算DI(▲29.4→▲43.8)、 仕入単価DI(▲23.5→▲43.8)、従業員DI(23.5→18.8) 向こう3ヶ月の業況は、▲50.0と横ばいの見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 76. 2	▲ 71. 4	▲ 71. 4	▲ 76. 2	14. 3	0. 0	14. 3

業況D I は ▲ 76. 2 (前期比3. 8ポイント増) と4期連続の改善となった。

項目別

- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(5.0→14.3)
- ○2期連続改善⇒仕入単価D I (▲10.0→14.3)
- ○今期より悪化⇒売上DI(▲65.0→▲71.4)、採算DI(▲70.0→▲76.2)、 従業員DI(10.0→0.0)

向こう3ヶ月の業況は、▲71.4と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 65. 0	▲ 50. 0	▲ 60. 0	▲ 55. 0	▲ 5. 0	▲ 5. 0	0. 0

業況DIは、▲65. O(前期比33. 2ポイント減)と悪化となった。

項目別

- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(▲9.1→0.0)
- ○2期連続改善⇒仕入単価DI(▲18.2→▲5.0)
- ○今期より悪化⇒売上DI(▲45.5→▲60.0)、採算DI(▲50.0→▲55.0)、 従業員DI(22.7→▲5.0)

向こう3ヶ月の業況は、▲50.0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
▲ 93. 3	▲ 100. 0	▲ 86. 7	▲ 93. 3	▲ 33. 3	▲ 40. 0	6. 7

業況DIは▲93.3(前期比6.7ポイント増)と改善となった。

項目別

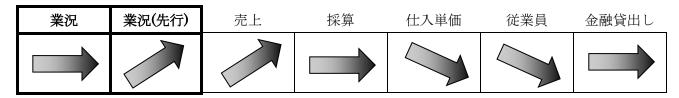
- ○今期より改善⇒金融貸出しDI(0.0→6.7)
- ○今期より悪化⇒採算DI(▲64.3→▲93.3)、仕入単価DI(▲14.3→▲33.3)、 従業員DI(0.0→▲40.0)
- ○2期連続悪化⇒売上DI(▲85.7→▲86.7)向こう3ヶ月の業況は、▲100.0と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業 (工業製品)



製造業(宝飾)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(建築)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(土木)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業(鉄鋼)



卸売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業(繊維)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

卸売業(その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(大型店)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(食料品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業(事務用品)



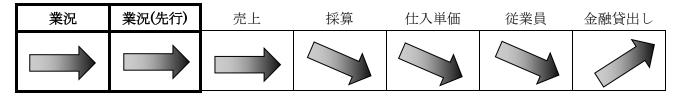
小売業(趣味・日用品)



小売業(家電)



サービス (ホテル・旅館)



サービス業 (観光)



サービス業 (飲食その他)



中小企業の声(現状や直面している課題等)

【製造業】

製造業(食品)

- •「がんばろう 甲府!最大30%戻ってくるキャンペーン第2弾」の影響で好調。
- •12月は前年を上回る売上があったが、緊急事態宣言後は前年比50%まで落ち込む厳しい状況。 製造業(宝飾)
- •緊急事態宣言発令に伴い、先の見通しが益々厳しい。特にイベント関係のキャンセルが出ている。 製造業(ニット)
 - ・冬物の注文などで改善の兆しを感じられたが、緊急事態宣言により売場の仕入れ額に慎重感がでてくると考えられる。

【卸売業】

卸売業 (その他)

- 分野ごとで格差が出始めている。
- ガソリン販売量は1月に入ってから前年比の9割を下回っている。

【建設業】

建設業(建築)

- 新型コロナの影響を直接的に受けてはいないが、身近に感染者が発生するケースが出ており、対応に苦慮している。
- 大手下請工場は仕事があるが、個人では仕事がない状況。

建設業(鉄鋼)

出張制限はあるものの、工事推捗へのコロナ影響は少ない。

【小売業】

小売業 (趣味・日用品)

- ・政府の対応にブレを感じる。2~4月は客単価が下落してくると考えられる。
- •「がんばろう 甲府!最大30%戻ってくるキャンペーン第2弾」の効果はあったが、修理などの 必要なものの消費にとどまり、消費者の買い控えが広まっていると考えられる。

【サービス業】

サービス業(観光)

- ますます悪化している。雇用を守ることで精一杯な状況。
- 緊急事態宣言により人の動きが全くなくなり、旅行業界が今後どうなるか分からない状況。

#-	-ビフ業	(飲食その他)
•	レク来	

・飲食業は過去最悪な状況。コロナの収束が見えない限り、業況が好転することはないと思う。

以上